

消防本部事務室



総務・警防・予防の3つの課で構成されており、消防関係の事務手続き、火災予防啓発などの消防業務を行う

通信指令室



119番通報を受け出動部隊へ指令をかける消防活動の核となる部署。指令システム導入により119番通報受信、場所の特定など円滑な出動が可能になった

機械室



デジタル無線と併せて導入された指令システムサーバーと太陽光で発電した電気の蓄電装置が配置されています

仮眠室



2人が1部屋を交代で使用する形態の仮眠室が11部屋と女性用仮眠室を1部屋を備

消防署車両

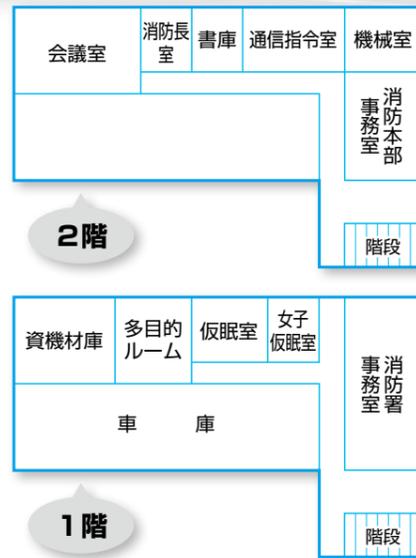


指揮車1台、高規格救急自動車1台、消防ポンプ自動車3台、資機材搬送車1台の計6台(台数に増減なし)

消防署事務室



火災など災害現場に対応する出動部隊。現場対応以外にも事案の記録や統計などの事務も行う



12月1日、国東市消防本部・消防署の新庁舎落成式が行われました。新消防本部・消防署は、昭和47年に国東町田深に建設された旧庁舎が老朽化と耐震性の問題があり、近い将来発生が危惧されている南海トラフ地震や津波発生による被害が予想されることから、国道213号沿いに北へ約2キロ移動した国東町北江の高台に建設されました。

落成式当日は、消防業務を委託する姫島村長も含め、約70名の関係者が出席しました。式終了後は、主副訓練塔を使った消防署員の訓練展示が行われました。

地域の防災拠点 新消防本部・消防署が誕生!!

今までの経過

平成24年4月…消防本部・署移転新築について検討開始
12月…庁舎建設予定地決定、用地関係者説明会
平成25年7月…庁舎用地取得完了
12月…庁舎用地造成工事入札
平成26年3月…庁舎用地造成工事完了
8月…建設工事入札
10月…新庁舎建設工事の着工
11月…無線デジタル化事業入札

平成27年1月…無線デジタル化事業着手(機器)
5月29日…新庁舎完成
6月…無線の庁舎内工事着工
7月…新通信指令装置への情報入力
9月末…デジタル無線整備工事完了
新通信指令装置への情報入力完了
10月…備品関係整備、指令装置と無線の試験運用
11月15日…旧消防本部・署閉鎖
11月16日…新消防本部・署業務運用開始
12月1日…落成式



▲平成26年3月10日
用地造成工事の様子



▲平成26年10月14日
新庁舎建設工事起工式の様子



▲平成27年1月5日
新庁舎建設工事の様子



▲平成27年3月26日
新庁舎建設工事の様子

①新庁舎になって大きく変わったこと

1 地域の防災拠点として役割を担える施設

海拔14mの高台に耐震性の高い建物となり防災拠点として機能

2 消防救急無線がデジタル化

通話内容の秘匿性や大容量のデータ送信、119番発信地情報取得が可能となった

3 ドクターヘリの離着陸場

消防本部・消防署の敷地内にドクターヘリが離着陸できるスペースを確保

4 訓練塔による救助訓練

地上高17mと7mの主・副訓練塔や地下式防火水槽、消火栓等が設けられ、各種の消防訓練が可能となった

消防本部・消防署からのお願い

救急や火災など緊急の場合に、直接来訪して依頼される方がいます。しかし、午後10時以降の消防署は、防犯のため全館施錠しますので、御用の際には、玄関横のインターホンを押してご連絡ください。



【問合せ先】国東市消防本部 ☎0978-72-1101

(一財) 空港環境整備協会の助成で救急車を購入



▲左から三河市長、南 所長、岡田消防長

一般財団法人空港環境整備協会の助成を受け、12月10日(休)、国東市消防署南分署に、新しく最新鋭の高規格救急自動車が配備されました。

高規格救急自動車には、除細動器や自動心臓マッサージ器など、救急救命士による高度な救命処置ができる資機材が装備されており、救命率や社会復帰率の向上が期待されています。

12月11日(金)、市役所応接室で行われた贈呈式には、同協会の南 朋幸大分事務所長が訪れ、三河市長へ助成目録が手渡されました。

なお、市内の救急自動車の配備状況は、国見出張所に1台(高規格)、消防署本署に1台(高規格)、南分署に2台(1台が高規格)となっています。